



我がまちの未来を描く

黒部を誇れる故郷に



地域に根付く 企業として

「やっぱり大切なのは、人々なんです」と優しくも力強い言葉で、人材育成について語る大橋聡司さん。

今回の特集では、企業や地域活動をとおして、先を見据えたまちづくりと人づくりの大切さを伝え続ける大橋さんへのインタビューから、未来の黒部について考えます。

黒部川水系を主な事業エリアに、景観を損なわない工法など、環境に配慮したインフラ基盤構築に携わっている大高建設株式会社。代表取締役社長の大橋聡司さん（以下、大橋社長）は、企業の経営者として、世の中の流れにアンテナを張りながらこれからの方向性を考える中、社会や地域に貢献していくことの大切さを常に感じてきたと話します。

2009年には現在の「一般社団法人でんき宇奈月」の前身である委員会を設立し、企業としてだけでなく、地域の一員としても事業で培った技術や知識を活かして、公益的な活動に取り組んでいます。

大橋社長は、「宇奈月には、電源開発としてスタートした歴史があります。昔から大自然と共生しながら、その恵みを生かして発展してきた地域なんですよね。しかし、これだけ世界に誇るべき自然の恵みがあるのに、何か行動をしていかなければ、次の世代がこの地に残ってくれず、地域が疲弊していつてしまうのではないかとという危機感がありました」と、魅力ある地域であり続けるためにも活性化を図ろうと考えたと話します。

「地域を活性化していくためには、ここにはないものを持つてくるのではなくて、地域の歴史を踏まえて、すでにある資源を再発見して活かすことが大事だと思っただけです。そこで、小水力発電というものを作って、その電気でバスを運行させるという取り組みをしようと考えました。地熱や温泉熱など色々なエネルギーを活用することで、より豊かで、持続可能な地域社会を作れるのではないかと思っただけです」。

そうして宇奈月温泉で開発を進めた、小水力発電や電気自動車バス「EMU」が再生可能エネルギー、そして環境にやさしい公共交通として全国的に注目を浴び、現在も全国各地から視察の方々が訪れています。



EMU



地域や社員への想いを語る大橋社長



平成24年から「EMU」の実証実験が始まりました

この先の道しるべを

企業としても、防災や減災、環境との共生や再生可能エネルギー開発などに取り組み中、大橋社長は目先のことだけでなく、中長期的な視点が大切だと話します。

「中長期的に見据えていくためには、その道しるべが必要だと思っんですよね。」

元々当社が取り組んできた事業と、社会に貢献していくための事業について改めて考える中で、国連で採択された『持続可能な開発のための国際社会共通の目標（SDGs※1）』の考え方について、知れば知るほどに共感し、納得するところがあったんですね。そこで、SDGsを企業としての一つの道しるべ、羅針盤として活用していくことが、この会社を持続可能にするために必要ではないかと考えました。」

このことから大橋社長は、すでに取り組んできた品質・環境・安全等に関することと併せて、SDGsの推進役を担う部署を今年度から新たに立ち上げました。



全社員でSDGsのカードを使ったワークショップを行いました

人は最大の財産

「組織は人なり」この言葉に尽きます。いい企業であり続けるためには、一人ひとりの社員がやりがいや生きがいを持って働けるような組織であるべきだし、その環境を整えることが大事だと思っています」と語る大橋社長。

30年近く社員として勤め、現在はSDGs推進を担う川添将文企画調査室長は、「社長は以前から、『人材は、人財だ』と言ってきます。会社の中で誇りを持ち、活躍したいと思ってもらうことを大切にしており、そのためにはどれだけ投資してもいい、という思いを持っています。また、社長が若手社員と直接コミュニケーションを図る、社長塾を年に数回開催し、会社を良くするためのアイデアを出してもらい、活かす取り組みもしています。そういう環境だからこそ、自然と会社に貢献したいという気持ちや新たなチャレンジをする姿勢が生まれてくるのだと思いますね」と話します。

企業として築いてきた、チャレンジする風土が、実際に海外展開を検討する場面で、社員が進んでミャンマーでの現地調査を実施するなど、積極的な姿勢につながっているそうです。

また、働きやすい環境の整備についても「建設業は男性のイメージがどうしても強いですが、女性の方でも技術者として現場で働けるような環境づくりのために、トイレなどの配



社員一丸となってSDGsを進めていくことを宣言しました

慮はもちろん、育休やフレックスタイムも設けています。国籍についても線引きなく、海外の人材も雇用しています。海外出身の方は非常にまじめで、日本人が今失いつつあるような家族や社会のために頑張りたいという素晴らしい気持ちを持っていて、日本人の社員にすごくいい刺激になっているんですよ」と、誰でも平等に働ける会社をつくるのが、全体にとつての好循環を生み出し、新たな人材の雇用にもつながっています。



中国出身で現在SDGs担当の田さん 企画調査室長の川添さん



Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称。2015年9月の国連サミットで採択され、国連加盟国193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標。17の目標とそれらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。

詳しい内容は以下からご覧いただけます

国際連合広報センターHP内

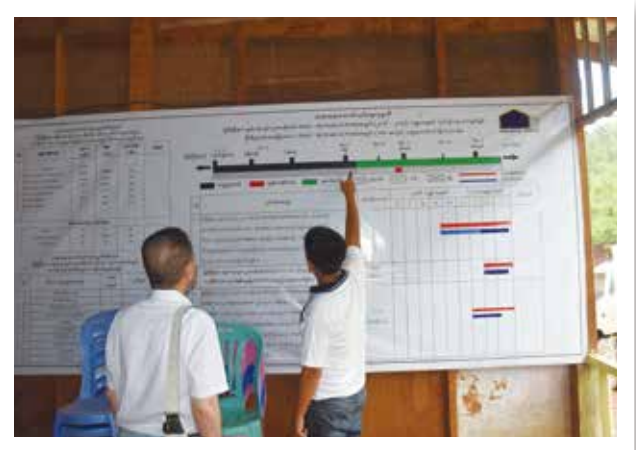
QRコード

スマホの方はこちら

SDGs 報告2019



女性も現場で活躍できる環境づくりに取り組んでいます



ミャンマー進出に向けて積極的に調査を進める社員

故郷に愛着と誇りを

「でんき宇奈月」としての活動では、全国各地から視察や研修のために宇奈月を訪れる方々のサポートを行っており、学生への環境教育も積極的に取り組んでいます。過去には建築やデザインを学んでいる大学生と協働し、提案してもらったデザインを実際に具現化するなど、学生が実務的に学べる機会をつくってきました。近隣市町村の小中高生も再生可能エネルギーやエコ発電について、授業の中で学びに来るなど、県内外で黒部や宇奈月のことを知ってもらい、訪れてもらうきっかけにもなっています。

いろんな地域を訪れる中、大橋社長は黒部について「環境としては最高だと思っています。これだけ素晴らしい資源があるところはないので、ぜひ子どもたちが自分の故郷に愛着を持って、住み続けたいと思える地域、あるいは別の地域で暮らしていても、故郷のことを常に思ってもらえるような地域でありたいと思いますし、その可能性は十二分にあると感じています。そのためにこれからも取り組んでいければと考えています」と想いを話します。

住んでいる人がまちに愛着や誇りを持ち、たくさんの人たちに地域のことを知ってもらい、訪れてもらうことで、住んでいる人が喜びを感じられるようなまち。これからは担っていく

く次の世代や子どもたち、そしてその先も続いていく黒部のまちを描き、未来への投資を考える大橋社長の言葉とゆるぎない眼差しに、胸を打たれました。



小水力発電のしくみを学ぶ小学生



毎年多くの子どもたちが見学に訪れます

ふくしスマイルワーカー

福祉に携わる人のお仕事拝見!



スマイル Vol.68

黒部市民病院 産婦人科
主任助産師

あいざわ まい
相澤 舞衣 さん(35歳)

休日の楽しみ
家族旅行、小物づくり



分娩後も赤ちゃんの状態を見守ります

お仕事に就いたきっかけと
やりがいを教えてください。

人の役に立てる医療の仕事に憧れ、看護師を志して大学に進みました。授業で見た家庭分娩の映像で、家族みんなで赤ちゃん誕生の瞬間を迎える姿に感動したことが、助産師の道を選んだきっかけです。

母子2人の命を守っているという緊張感の中で、分娩の苦しさを乗り越えたお母さんが赤ちゃんを見た瞬間の笑顔や、そばにいたお父さんが涙を流す姿には、何度立ち会っても胸を打たれます。

赤ちゃんが元気に暮らしていくためには、お母さんがあってこそだと思うので、これからもお母さんの想いや気持ちに寄り添える助産師でありたいと思っています。

写真レポート



11月1日(金)・15日(金) たかせ小学校

たかせ小学校 福祉体験教室

4年生42名が視覚障がい者・高齢者の疑似体験や車椅子体験をしました。サポートに適切な立ち位置や、声かけなどの配慮も学びました。



11月29日(金) 浦山交流センター

看護師から学ぶ「感染症予防」

この時期に流行する感染症の症状や、予防のための正しい手洗いとマスクの着用方法を学び、血流をよくする簡単な体操をしました。



世界と地域をつなぐ
持続可能な地域づくり

黒部の福祉を良くする活動計画
Kurobe Social Welfare Action Plan



5GOALS for 黒部 (第3次黒部市地域福祉活動計画)の詳細は、黒部市社会福祉協議会ホームページからご覧いただけます。



スマホの方は
こちら

黒部でも「持続可能な地域づくり」を目指し、5つの共通のゴールに向けて、まちづくりを推進しています。

黒部市福祉センターのお知らせ

[利用時間] 8:30~16:30 [入浴] 10:00~16:00

1月

- 11日(土) 日本海歌謡研究会 10:30~
- 18日(土) グリーンロード 10:30~
- 19日(日) 歌謡パラダイス 10:30~
- 26日(日) YKK社友会歌謡同好会 10:30~

休館日 毎週月曜日(6日・13日・20日・27日)
年始は1月4日(土)から営業します。

2月

- 8日(土) グリーンロード 10:30~
- 11日(火) 立山相甚会 10:30~
- 15日(土) こぶしカラオケ愛好会 10:30~
- 22日(土) 魚津カラオケ友好会 10:30~
- 23日(日) はまなすカラオケ&踊り 10:30~
- 29日(土) 華の会 10:30~

休館日 毎週月曜日(3日・10日・17日・24日)
12日(水)は祝日振替のため休館です。

催し物と休館日のご案内

地域福祉のために

黒部市社会福祉協議会に
寄付をいただきました
ありがとうございました

- 白川 義男 様
- 黒部市地区ボランティア部会協議会 様
- 黒部市農業協同組合 様
- 黒部市シルバー人材センター 様



会員手作りのしめ縄飾りを50個頂きました。

今月の相談日

民生委員児童委員と心配ごと相談
行政相談員と行政相談

黒部市立中央公民館(宇奈月町浦山2100-2)
1月9日(木) 13:30~15:30
黒部市福祉センター(金屋464-1)
1月14日(火) 13:30~15:30

弁護士と法律相談 予約受付/1月6日より

黒部市福祉センター(金屋464-1)
1月21日(火) 13:30~15:30

同じ相談内容の場合は、
お一人様につき3回までとさせていただきます。

富山県東部生活自立支援センター
生活自立支援相談 予約不要

黒部市福祉センター(金屋464-1)
1月6日(月) 10:00~11:30

イベントPICK UP

「見える化」しよう くらべのふくし
~米国からの学びと黒部5GOALSの挑戦~

令和2年 1月18日(土) 参加無料

[時間] 10:00~12:15
[場所] ホテルアクア黒部 2階 咲耶
[定員] 100名 ※託児あり(事前予約要 1月10日締切)

SDGs(国連の持続可能な開発目標)の地域への応用として、地域課題を踏まえた地域目標策定の動きが始まっています。本フォーラムでは、目標や指標の可視化による地域づくりに長年の知見を持つ、米国のコミュニティ・インディケーター・コンソーシアム(CIC)関係者から、地域の可視化の目的やその成果を伺い、黒部の目標「5GOALS for 黒部」の今後の展開について議論します。

[主催] 社会福祉法人黒部市社会福祉協議会/黒部市地域福祉活動計画推進評価委員会/一般財団法人CSOネットワーク
[助成] 国際交流基金 日米センター(CGP) [後援] 黒部市/社会福祉法人富山県社会福祉協議会

申し込み・お問合せ 黒部市社会福祉協議会 TEL.(0765)54-1082 お申し込みはこちら

参加ゲスト



Chantal Stevens
シヤンタルスティーブンス氏



Raul Alvarez
ラウルアルバレス氏
※逐次通訳あり



イベントPICK UP

きめこ
木目込みボールの
お雛様を作ろう

ころんと丸くて愛らしいお雛様飾りで、
桃の節句を彩りませんか。

令和2年 2月6日(木)

[時間] 13:30~16:00
[場所] 黒部市福祉センター 研修室
[講師] 高島 真実子 氏
[定員] 20名
[参加費] 800円
[持ち物] 目打ち、先の切れるハサミ
[申し込み] 1月6日(月)~1月31日(金)まで
※定員になり次第受付を終了します。

お問い合わせ

黒部市社会福祉協議会 TEL.(0765)54-1082

今月のクラブ

囲碁・将棋クラブ
金曜日(10日・17日・24日・31日)

元気カラオケクラブ
木曜日(9日・23日)

ポールウォーキング
金曜日(10日・24日)



誕生日のお祝いに
黒部市福祉センターの
入浴券はいかがですか?
11枚綴り 3,000円

我がまちの未来を描く
黒部を誇れる故郷に



大橋 聡司さん



2020
1月
Vol.166
月

【編集・発行】 社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会 令和2年1月1日発行

この広報誌は一部共同募金の助成金により発行されています。

うなづき

【参加費】150円(入館料のみ)



生き生き倶楽部

黒部市宇奈月老人福祉センターにて
TEL.(0765)65-1820

【時間】9:30~15:00 【対象】65歳以上の方

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1 元旦	2	3	4
5	6 書初め	7 書初め	8	9 書初め	10 書初め	11
12	13 成人の日	14 健康体操B	15 健康体操A	16 レクリエーション	17 レクリエーション	18
19	20 健康講話	21 健康体操B	22	23 健康体操B	24 レクリエーション	25
26	27 介護予防教室	28 自力整体	29	30 健康講話	31 レクリエーション	2/1
2	3 レクリエーション	4 レクリエーション	5 レクリエーション	6 レクリエーション	7 健康講話	8

時間/10:00~ ※ は休館日

健康体操A 石田 みどり先生 健康体操B 村田 あゆみ先生
 介護予防教室 黒部市接骨師会 自力整体 稲田 清美先生
 健康講話 20日/2月7日:魚津緑ヶ丘病院(認知症について)
 30日:池田リハビリテーション病院

くろべ

【参加費】300円(入館料のみ)



元気はつらつ体操教室

黒部市福祉センターにて
TEL.(0765)54-1082

【時間】10:00~11:00 【対象】65歳以上の方

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1 元旦	2	3	4
5	6	7 体操	8 自力整体	9 健康体操A	10 健康体操A	11
12	13 成人の日	14 自力整体	15 自力整体	16	17 自力整体	18
19	20	21 健康体操A	22 アロマ・ヨガ	23 自力整体	24 アロマ・ヨガ	25
26	27	28 アロマ・ヨガ	29 健康体操B	30 アロマ・ヨガ	31 健康体操B	2/1
2	3	4 健康体操B	5 音楽療法	6 健康体操B	7 音楽療法	8

時間/10:00~ ※ は休館日

健康体操A 樋口 瞬先生 健康体操B 炭田 亮子先生
 アロマ・ヨガ 村田 あゆみ先生 音楽療法 畠山 悦子先生
 体操 泉 一郎先生 自力整体 稲田 清美先生



冬の体調管理に 気をつけましょう!

暖房のきいた暖かい部屋から外に出ると、急激な温度差で身体がぎゅっと縮こまります。筋肉が硬くなると、無意識に歩幅が狭くなったり、背中が丸くなったりして、身体のバランスを崩しやすくなります。外出時は、家の中で数分間足踏みをするなど、身体を温めてから出掛けるようにしましょう。

また、廊下やお風呂、トイレなど急激な温度差で血圧が急変し、転倒などの事故につながる「ヒートショック」にも気をつけましょう。

お問い合わせは黒部市宇奈月老人福祉センター
TEL.(0765)65-1820 担当:山内まで



今月の表紙

澄んだ青空に映える、真っ白な山々。晴れた日には、冬の寒さも心地よく感じさせるような清々しい景色が広がっています。いつもそこにある美しい風景を、お正月休みにゆっくりと眺めてみませんか。

福祉・ボランティアに関することは



黒部市社会福祉協議会

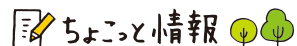
http://www.kurobesw.com/

本所 黒部市福祉センター内

〒938-0022 黒部市金屋464-1 TEL.(0765)54-1082(代表) FAX.(0765)52-2797
TEL.(0765)57-1089(ケアセンター・ホームヘルプセンター) Eメール kurobesw@ma.mrr.jp

宇奈月支所・黒部市東部地域包括支援センター 黒部市宇奈月老人福祉センター内

〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山2111 TEL.(0765)65-1165 FAX.(0765)65-9533
Eメール tobu-houkatsu@kurobesw.jp



ちょっと情報

【黒部市の人口】41,167人 【65歳以上の人口】12,813人 高齢化率 31.1%

R1.11.30 現在